

平成 30 年度
学校関係者評価結果報告

令和元年 9 月 3 日

学校法人 榎本学園
町田福祉保育専門学校

令和元年年 9 月 3 日

町田福祉保育専門学校
校長 岩本 太三 殿

学校関係者評価委員会

学校関係者評価委員会報告

平成 30 年度学校関係者評価につき、下記のとおり評価結果を報告します。

記

1 学校関係者評価委員

小泉 昇（公益社団法人 神奈川県社会福祉士会 会員）
森田 健一（社会福祉法人 合掌苑 マネージャー）
野村 明洋（一般社団法人 東京都民間保育園協会 会員）
島田 恭子（社会福祉法人 真生会理事長）

2 学校関係者評価委員会の開催状況

令和元年年 8 月 29 日 15:00～16:00
（会場 町田福祉保育専門学校 図書室）

3 学校関係者委員会報告

別紙のとおり

以上

I 重点目標について

入学定員は年々減少。介護分野、保育分野ともに苦戦している。両分野とも人材不足は今さら言うまでもないことなので、とにかく生徒募集に手を尽くすこと、永続的な教育活動を継続させること、に引続き尽力ください。

II 各評価項目について

1 教育理念・目的・育成人材像

「介護福祉及び保育の分野に貢献できる人材を養成すること」と目的にあるとおり、とにかく継続させることに、力を注いでいただきたい。

2 学校運営

少子化により学校運営は厳しい状況のようですが、永続的な教育活動を行うべく、適切な学校運営にご尽力ください。

3 教育活動

養成校として、今まで以上に他校と較べても高い評価を獲得してゆかねばならない。教員の資質向上や授業評価には今以上に取組んでいただきたい。

4 学修成果

介護分野も保育分野も10倍以上の求人をいただき、就職率はほぼ100%。介護福祉士は国家試験が受験化され、これまでも増して学修指導が大変でしょうが、高い合格率を保てる指導体制を維持していただきたい。

卒業生の社会的評価にもっと敏感になり、入学、卒業、社会での高評価という学校としての好循環に繋げて行って欲しい。

5 学生支援

生徒数が減少していることもあり、退学率低減も課題。一人一人の生徒と向き合う面倒見の良さを発揮してもらいたい。もともと本学の強みであると思われまますので。

留学生への指導、相談はきめ細かく行われている様子。介護の専門職に育てるため各校とも苦勞しておられるようですが、ぜひ継続してください。

6 教育環境

外部の方から「清潔、きれい」との声が多いとのこと。非常に重要なことですので、是非その状態を維持していただきたい。

設備に大きな変更計画はないとのことですが、施設・設備はすでに30年を経ますので、必要な手直しは適切に行ってください。

7 学生の募集と受入

本校のありのままを伝えることが一番の募集戦略、であるならば、体験学習等、切り口を工夫したイベントを頻繁に実施して、その機会をふやす努力をお願いします。

8 財務

厳しい状況だと聞いておりますが、継続を第一義に取組んでください。

9 法令等の遵守

法令遵守は当然のこととして意識を高め、学校運営を行っていただきたい。

10 社会貢献・地域貢献

社会貢献・地域貢献の精神は社会福祉に携わる者にとってかけがえのないものです。これまでどおり、学生一人一人のボランティア活動などの地域貢献を活発にして欲しい。また学校として可能な地域貢献にも積極的に取り組んでいただきたい。